

北海道ブロック総会に出席して

産業開発青年隊同窓会会長 鈴木 浩明

令和8年6月20日（土）より6月21日（日）まで北海道ブロック総会に出席してきました。総勢14名の出席でした。本部より、私、栗田直前会長、平井副会長、太田副会長、北島副会長、木下相談役、福岡相談役
北海道ブロックより、鈴木ブロック会長、渡村幹事、若宮先輩
その他のブロックより新堀先輩、斎藤先輩、橋本君、金子君
の総勢14名の出席です。

開会のあいさつでは、私より本部の報告をさせていただきました。本年度は、南米青年隊の70周年記念大会がありますが、記念誌の出版を行い、大会は行わないこと。青年隊創設75周年記念大会は、2028年に行うこと。現在約200名の会員より年会費を収めていること。連絡のつく修了生は約800名いること。今までは800名に季刊誌を送っていましたが、年会費を収めている方と、納めない方の不平等をなくすために、会費納入者の200名に今年度から、郵送をしていること。を説明しました。また、ブロック大会を一番盛大に開催しているのが、北海道ブロックであり、悲しいことですが、今まで活動されていた、九州ブロック、沖縄ブロックが活動を休止している状況であることを説明しました。

その後、北海道ブロック新会長の鈴木会長より乾杯のあいさつをいただきました。その後の歓談では、皆さん青年隊時代の話しに花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。閉会のあいさつでは、福岡相談役より、富士教育訓練センター内の記念碑の件に並びに、青年隊資料館についてのお話がありました。記念碑については、今後未来永劫現在地に鎮座することができるように調整を行ってほしいこと。また、青年隊資料館を記念碑周辺に建設させていただくように活動してもらいたいとの、非常に大きく、重い宿題をいただきました。昭和40年代卒業の先輩方は、長澤先生との固い絆があり、この思いは、長澤先生の思いでもあると痛感しています。来年度には、富士教育訓練センターの創設30周年記念式典が開催されるそうです。その記念式典に向けて、薄れゆく産業開発青年隊の存在を今一度多くの方々に周知していただけるように、そして、青年隊記念碑や、青年隊の記録を、大切なものであるという機運を高めることができるように努力していきたいと思います。しかし、これを実現するためには、青年隊同窓会の方々の熱い思いがなければ実現することができないこともあえて、記させていただきたいと思います。わが想いを実現するためには、艱難辛苦を乗り越え、夢を途切れ競ることがないように精進することだと思えます。私も覚悟を決めますので、皆さんもその覚悟を共に背負っていただきたいと思えます。それがなければ、この夢は実現できません。よろしく願いいたします。



上段左より

渡村幹事、太田副会長、若宮先輩、平井副会長、北島副会長、橋本君、金子君

下段左より

斎藤先輩、新堀先輩、木下相談役、鈴木、栗田名誉会長、鈴木ブロック会長、福岡相談役





21日は有志によるゴルフコンペ スコアは、気にしません。楽しくできました。